

響のだより

〔ひびきのもりだより〕

2024.8.23
vol. 79



まるで自然という 絵具が乗ったパレット

秋が近づき色づく葉っぱたちに、
秋に見ごろになる花々たち。
赤や黄色、緑に白など様々。
その景色はまるで
いろいろな色がのったパレットのよう。
自然が生み出すたくさんの色を
お楽しみください。

氷ノ山フィールドノート

響の森周辺・登山道の自然情報記録よりピックアップして紹介します。



シロマダラ発見！
夜行性で発見しにくく「幻のヘビ」とも呼ばれるシロマダラを見させていただきました。若桜学園の生徒さんありがとうございます！

突然の出会い		元気に飛んでました！	
6/1 峠茶屋林にてニホンリス(仔)を目撃！ かわいいですねえ。	6/1 クロヒカゲ ダイミョウセセリ モンキチョウ	6/20 モンシロチョウ ツバメシジミ ハラビロトンボ ホソミオツネントンボ アオイトトンボ	6/22 アキアカネ オニヤンマ



複葉に気をつけろ!



ヌルデ



ハゼノキ



ヤマハゼ



ヤマウルシ

趣味や作業で野山を歩く人は複葉の植物を見かけると「かぶれないように注意、注意!」と意識することがあると思います。今回はかぶれを引き起こす主な植物であるウルシ科に焦点を当ててみようと思います。

まず、複葉に関してですが、羽のような形の葉っぱを羽状複葉といいます。トチノキやコシアブラなど手のひらのような形のは掌状複葉といいます。どちらも複葉ですが、今回は羽状複葉を取り上げます。では、そもそも複葉って何?ってことですが、見かけ多くの葉っぱ(小葉といいます)が集まっているように見えて実はその集まり全部が1枚の葉っぱなのです。1枚の葉っぱなので芽吹くときは全部の葉っぱが塊で出てきて、秋はまとめて落葉します。

ハゼノキ、ヤマハゼ、ヤマウルシ、ツタウルシ、ヌルデなどが代表的なウルシの仲間ですが、ヌルデに関してはかぶれ成分が弱くよほどの敏感肌でない限りかぶれることはないと言われており(私もかぶれたことはない)あまり注意する必要はありませんが前4者はいずれも触ればほぼ確実にかぶれる種類なので似ているがかぶれない他の複葉植物との識別が重要です。

まず、最初にツタウルシですが、3枚の葉っぱ(三出複葉という)でツタのようにツルで他の木に絡みついたり地面を這って成長しますので、葉脈や表面のツヤなどの葉っぱの特徴を覚えたら簡単に識別できます。ちなみにこのツタウルシが最も強いかぶれ成分を持っているらしいので十分注意が必要です。ウルシ科は基本的に小葉の葉っぱの縁にはギザギザ(鋸歯といいます)が無い(全縁といいます)ということです。ただしツタウルシの写真のように幼木では大ぶりの丸い鋸歯が出るので注意が必要です。ヌルデは例外的に鋸歯があり、しかも葉軸(小葉が付いている柄)に沿うように細い葉っぱ(翼といいます)が付いているので区別が容易です。ナナカマド、クルミ類、ニワトコ、ゴンズイなどは鋸歯がありますので区別できます(オニグルミの果肉は肌の弱い人はかぶれることがあるそうなので一応注意ください)。また、ニワトコ、ゴンズイなどは左右に対で複葉がでています(対生といいます)ので互い違いに複葉が出る(互生といいます)ウルシ科とは簡単に識別できます。

鳥取でよく見かけるのがカラスザンショウです。ウルシ科と同じ互生羽状複葉ですが小葉が7~15対と明らかに多く、

ツタウルシ



幼木

よく見ると小さな鋸歯があります。また葉軸や葉柄、葉が付いている支枝などにトゲがあります。トゲを確認出来たら葉っぱを指で揉んでみてください。甘い香りがします。ニワウルシも最近では鳥取の市街地や海岸沿いでよく見かけます。こちらはトゲはありませんが10~20対もあり複葉の全長も長いものでは1m近くになるので見分けは簡単です。ウルシ科と似て非なる他の植物の判別方法を簡単にまとめると、

- 1 1回羽状複葉か? 互生か?
→2回の羽状複葉もしくは1回でも対生なら安全
- 2 葉っぱが全縁か鋸歯があるか?
→鋸歯あれば安全(ただし幼木は注意)
- 3 枝もしくは葉軸にトゲがあるか?
→トゲあれば安全
- 4 複葉の対数が4~8対程度か?
→9対以上なら安全

このような特徴を覚え、触らないように注意することでかぶれることをほぼ回避できますし、似て非なる植物を安心して触ることができます。見分け方を習熟して山歩きを楽しみましょう。(参考文献:「樹木の葉」林 正之 著) (松平)

Special Issue

あんなこと、こんなこと



親子自然研究クラブ 「棚田の生き物観察」 6/22㊥



雨も降らずカンカン照りでもない、ほどよい曇り空のもと、5月25日に田植えをした棚田の周辺で、生き物の観察会をおこないました。1メートル超えのシマヘビから、5ミリくらいのユスリカの幼虫まで、40種類以上の動物を観察することができました。特にモリアオガエルは当たり日だったようで、あちこちに卵塊がみられ、たくさんのオタマジャクシや美しい大人のカエルも全員で観察できました。



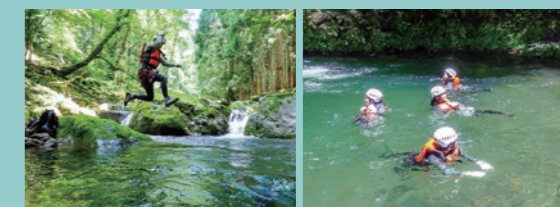
親子自然研究クラブ 「ヒョウノセンヒメハナノミを探せ!」 7/7㊥



ヒョウノセンヒメハナノミ、未だ、氷ノ山でしか見つからないという甲虫です。発見者の鳥取県立博物館館先生直々に講師をしていただきました。吸虫管という道具を作って使ってみたり、スウィーピングなどの虫の取り方を教わったり。小さな虫の世界をちょっぴりのぞいた一日でした。



大人のシャワクラ 7/21㊥



シャワクラはここ数年エコツアーで対応していましたが、久々に一般公募で開催しました。今日は梅雨明け、鳥取市内の気温は36度。諸鹿渓谷は別世界。夏はこれですよ! 飛び込んだり滝を登ったり、ドキドキわくわく、寒すぎない程度に涼しくさわやかな沢を楽しまれていました。エコツアーのシャワクラは随時受け付けていますので皆さんも是非体験してみてください。



響の森インタープリターのイチ押し情報



オリジナル 登山バッジ (NEW)

響の森から新しい氷ノ山登山バッジが発売になりました! 氷ノ山を代表する生き物、イヌワシとヤマメ、そして山頂小屋をデザインしています。登山バッジは数あれど、イヌワシとヤマメがついたバッジは氷ノ山だけ! 響の森売店でお買い求めいただけます。登山の前後に、登山をしない人も、ぜひ手に取ってみてください。

Highly Recommended



クルー活動紹介

※クルー: 響の森ボランティア

4月~5月の活動内容

- 棚田プロジェクト「田植え」(3)
- 親子自然研究クラブ補助(3)
- 森のようちえん+(プラス)補助(1)
- 巣箱をつくらう補助(2)
- 植物情報、写真提供(1)
- 生体展示用魚類補充(1)
- チョウの調査(2)

()は延べ人数

クルーを随時募集しています!
お問い合わせ・登録はお気軽に響の森まで!


前棚田隊長もクルーで田植えに参戦!



5月25日(土)に実施された棚田プロジェクト「田植え」には、クルーとして田中さん、長岡さん、そしてなんと前棚田隊長(左端)も参加してくれました。響の森のクルー活動では、いろいろな立場の人が一緒に汗を流しています。

Activity Report

イベントカレンダー 2024年 9月～12月

9月	9月 10日	いつでも作れるコーナー ・キノコのキーホルダーづくり	土日祝のみ
	15日◎	森のようちえん+(プラス)	
	23日◎◎	棚田プロジェクト「稲刈り」 参加費 / 700円 (おにぎり弁当が出ます) 定員 / 20名	
	28日◎	インタープリターがサポート 「氷ノ山登山初級編」	
	29日◎	大人の趣味講座 「セルフマッサー講座」	
10月	5日◎ 12/1日◎	響の森 秋の企画展 「ネイチャージャーナル展」 会場 響の森 イベントホール 観覧料 無料	
	6日◎	森のようちえん+(プラス)	
	12日◎	親子自然研究クラブ 「化石調査」	
	12日◎ 13日◎	わかさ氷ノ山・山フェス	
	20日◎	響の森 秋の企画展 ワークショップ 「ネイチャージャーナルを体験しよう」 時間 / 10:00～12:00 (親子対象) 13:00～15:00 (大人対象) 会場 / 響の森とその周辺 参加費 / 500円 定員 / 各回10名	要事前予約
	26日◎	紅葉の扇ノ山登山	
	27日◎	青空ブックカフェ	

11月	11月 12日	いつでも作れるコーナー ・クリスマス飾りづくり	土日祝のみ
	2日◎	大人の趣味講座 「トウモロコシの粉で 本格トルティーヤづくり」 参加費 / 2,500円	事前申込 (3日前まで)
	3日◎◎	棚田プロジェクト「収穫祭」 棚田米を使ったおにぎりづくりや 溪流魚の塩焼き体験など自然の恵 みをいただきます。 参加費 / 1,700円	
	4日◎◎	スペシャル観察会 「キノコの観察会」 時間 / 9:00～12:00 参加費 / 500円 定員 / 15名 対象 / 小学生以上	事前申込 (3日前まで)
	9日◎	森のようちえん+(プラス)	
12月	16日◎	親子自然研究クラブ 「巣箱調査」	
	17日◎	たき火で焼き芋 火を起こして焼き芋づくりに挑戦!	
	24日◎	手仕事講座「味噌づくり」	
	15日◎	森のようちえん+(プラス)	

Recommended Books 森のオススメ本

下山の哲学 登るために下る

「家に帰るまでが遠足です」とは小学校の頃に言われたかもしれませんが、それは氷ノ山登山でも、ヒマラヤ8,000m峰でも同じです。山岳遭難のほとんどが、体力や集中力が切れる下山中に発生すると言われていす。ヒマラヤ8,000峰14座完全踏破した筆者が、生きて還るために何を考え、どのように下りてきたかが語られた本です。



【著者】竹内洋岳 【構成】川口稜
【出版社】太郎次郎社エディタス
【定価】1,980円(税込)

Information

イチ押しイベント

大人の趣味講座 トウモロコシの粉で 本格トルティーヤ づくり



八頭町のパン屋さん「もりのひと」を講師に迎え、本格的なトルティーヤを作ります。粉をこねて、火を起こし、焚火で焼く! 焼きあがったら具を包んでおいしいタコスに。今回は大人の趣味講座なので、タコスの具もちょっとこだわって、参加者みんなで作ります。



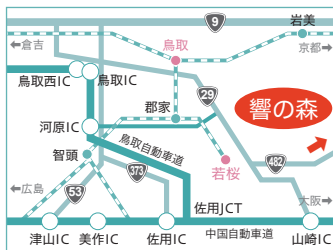
お問い合わせ TEL (0858) 82-1620



(一財) 鳥取県観光事業団

〒680-0728 鳥取県八頭郡若桜町つよね635-175
TEL (0858) 82-1620 FAX (0858) 82-1612
[E-mail] info@hibikinomori.gr.jp
[HP] https://www.hibikinomori.gr.jp/

休館日	4月～9月	10月・11月	12月～3月
	月曜日	月・火曜日	月～水曜日
	夏休み 期間中は無休		12/29～1/3
	祝日の場合は翌日休		



●皆さん夏は「海!」と思っているのですが、涼しく過ごしたい方は山へ行きましょう。芯まで冷たい方は沢もありますよ～♪(松平) ●しっかり暑いところから入る沢の気持ちよさに感動したこの夏。自然のサウナここにあり! 完全にととのいました!(山根) ●自然の美しさを記念に残すなら、写真もいけどスケッチもね。挑戦してみようかな～(高橋) ●芸術の秋、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋。あら、響の森で今年の秋、全部できそうじゃないですか。(岡田)

編集後記